

横浜国立大学 生態リスクGCOEプログラム

第74回GCOE公開講演会

兼 生物多様性フットプリント勉強会

日時：2月23日（木）13:30～14:30

会場：環境情報1号棟 315号室

前澤 英士さん（WWFジャパン）

スマトラ島でのWWFの取り組みについて

インドネシア、スマトラ島には多様に富む熱帯林が分布する。しかし、森林減少が急速に進むなか、スマトラトラ、スマトラゾウ、スマトラサイ、オランウータンなどの絶滅の危険が増大している。この問題に対応すべく、WWFは特に次の二地域において活動を展開している。1) スマトラ島中部リアウ州テツソ・ニロ国立公園及びその周辺、2) スマトラ島南東部、ブキ・バリサン・セラタン国立公園及びその周辺。これらの地域の生物多様性上の重要性、直面する脅威について触れるとともに、問題解決へ向けたWWFの活動方針と実際の活動についてご紹介する。

主催：横浜国立大学グローバルCOE 「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」

連絡先：〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7

横浜国立大学環境情報研究院グローバルCOE（生態リスク）

担当：茂岡 TEL/FAX：045-339-4497 E-mail：er-coe3@ynu.ac.jp